

感性はどう育つか～スピリチュアルケアの要

講演・援助する心～サイモントン療法によるアプローチ

川畑 のぶこ

心理療法家 サイモントン療法認定トレーナー

サイモントン療法は、アメリカの放射線腫瘍医で、心理社会腫瘍医のカール・サイモンによって開発された、がん患者さんとご家族のための心理療法です。

サイモントンは、サポーターのあり方やサポートの質が、患者の治癒の過程やクオリティ・オブ・ライフに大きく影響することを重要視し、サポーターのための具体的なプログラムを設けています。真のサポートとは何か、効果的で質の伴ったサポートやコミュニケーションとは何か。今回はサイモントンの教えと取り組みからご紹介いたします。

映画・久高オデッセイ 3 風章

監督・大重潤一郎

制作実行委員長・梅原猛／制作実行副委員・島蘭進 鎌田東二

第三部を(原点回帰)へと誘う「風章」と名づけ、魂の道草からはじめたいと思っている。まず、イノー(岩礁)の生命圏、(中略)最後に、人間の魂が身体を脱ぎ捨て、海の彼方へ、原郷のニライカナイへと帰っていく姿と向き合いたい。

天空を、渡り鳥がぐるっと俯瞰してきたような宇宙観……。そして、生と死は表裏一体であり、ゆるやかにつらなっている……。という生命観。それらを感じる感性を、私たちは「生命感覚」と呼んでいる。その感覚こそが、『久高オデッセイ』の眼差しである。

(故・大重潤一郎の映画紹介より抜粋)

講演・エンド・オブ・ライフケアで大切なことは

秋山 正子

マギーズ東京共同代表理事 NPO 法人白十字在宅ボランティアの会理事長

第47回フローレンス・ナイチンゲール記章受賞(2019年5月12日)

利用者・療養者の尊厳を重んじ、本人の希望を中心に置いて看護を行うとともに、本人を支える家族にも配慮し、近隣や友人のネットワーク構築を重視した、ニーズに即した質の高い訪問看護を展開。(中略)

また、家庭的でくつろげる心地よい建物・空間にがん詳しい看護師・心理士が常駐し、友人のように関わることで、本人がくつろぎ自分の力を取り戻す環境整備として英国のマギーズがんケアリングセンターの日本初の正式なセンターとして「マギーズ東京」を開設。

(日本赤十字社・受賞者功績より抜粋)

○ご飲食について

会場内のご飲食はできますが、講演中は水分補給以外のご飲食はお控えください。

ご昼食は、徒歩10分圏内に多数お店がございます。老舗から最新まで、観光地をお楽しみください。